

刈りや枝打ち、間伐をしながら育てた木を伐採し販売する。そして再び山に苗木を植えるという循環していく仕組みのことなんだ。

**🐝それが林業をするってことだね。**

**😊** ということだね。でも、近年は木材価格が低迷していて林業経営が難しくなってきた、林業をする人が減少しているんだ。

**🐝そうだと管理ができない人も増えるよね。**

**😊** だから令和元年度から始まった森林経営管理制度で、森林の経営管理を津市に委託をすることができるようになったんだ。

## 現場で立ち会いし境界を決定

**🐝** といえば、自分の山がどこにあるか分からない人がいるって聞いたことあるよ。

**😊** 「おじいちゃんの代までは隣の森林との境界もはっきり分かっていたんだけど、自分たちはどれが自分の山なのかすら分からない」っていう話を聞くことが多くなったよね。

**🐝森林の境界はどうやって決めるの？**

**😊** 隣地の人と現場で立ち会いして、お互いに納得した上で境界を決めるんだ。でも、山の境界になると自分で把握していない人が多いから、山に詳しい人に立ち会いをお願いすることもあるよ。

**🐝決めた境界は分かりやすく残すんだよね？**

**😊** 立ち会いによって決めた境界に杭を打って誰が見ても分かるようにするんだ。また、測量した図面は「林地台帳」に載せるんだよ。



**🐝自分の山がどこからどこまで分かったら、今度は自分で山の手入れをするかどうかを決めるんだね。**

**😊** うん。津市は森林を所有している人に調査票を送って、津市に経営管理を委託するのか自分で管理するのかを確認するんだ。

**🐝その意向を受けて津市はどうするの？**

**😊** 森林の現況調査や境界を明確にしてどんな森林



か調べるんだ。自分で管理しないといっている人の持つ森林は、林業経営に適した森林かどうか判断して、意欲と能力のある林業経営者に経営してもらうことにするんだ。

**🐝林業経営に適さない森林はどうなるの？**

**😊** 再委託できない森林は津市自ら「市町村森林経営管理事業」として管理していくことになるよ。また、所有者が不明の森林についても、津市が経営や管理をすることができるんだよ。

## 森林整備を始めます

**🐝でも森林環境税は令和6年度から課税されるのに、どうしてもう始まっているの？**

**😊** 全国で台風などの災害によって土砂崩れなどの被害が出ているんだ。そこで、国は森林整備を早急に進める必要があると考え、森林環境税とは別のお金を活用して開始したんだ。ちなみに令和2年に津市へ配分される税額は1億810万6,000円で、三重県下では一番多いんだよ。

**🐝** そうか、森林の手入れは少しでも早い方がいいよね。意向調査は芸濃地域から始まったって聞いたけど、令和2年度はどの地域が対象なのかな？

**😊** 美杉地域で実施してるよ。森林面積の大きい地域から順に進めて、令和5年には津市全域の意向調査に着手できる予定だよ。

**🐝この制度やお金を使って、どんな森林づくりを目指すの？**

**😊** この取り組みで、森林の持ついろいろな機能を回復させたいと思っているんだ。そうなれば、国土が豊かになって、森林にいろいろな生き物が集まったり、恵みを与えてくれるようになるんだ。また、森林が豊かになると、林業も盛んになって、林業に携わる人が増えたり、木材などの生産物が利用されることで産業が成長するんだ。だからみんなで地域の大切な宝である森林を守り育てていきたいね。